

# 押出成形機の 部品加工専門メーカー

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



二軸シリンダを高精度で仕上げる

### 主な事業内容

押出成形機用スクリー、シリンダ、金型などの製造・販売

### 主な取引先(納入先)

大手化学系製品製造会社、ゴム系製品製造会社

### 主な製品

押出成形機用スクリー、シリンダ、金型など

### 業務内容

**品質と納期管理を兼ね備えた技術屋集団**

三陽は押出成形機と呼ばれる、プラスチック混練をはじめ、食品、医療、リサイクルといった多岐にわたり使用される産業機械のスクリー、シリンダ、金型、その他付属部品のほぼすべてに対応する金属加工業者である。特に加工技術が難しいと言われる二軸型押出成形機部品にも対応できる高い技術力を持つ技術屋集団だ。そのほか特注仕様や特急対応品、ハステロイといった難削材の加工などにも対応する。また、納期管理についても、独自の管理システムの導入によりすべての案件をリアルタイムで可視化管理することで、顧客からは製品精度と納期管理の両面で高い信頼を得ている。

### 強み 内製化を進め “こだわり”の製品作り

機械加工を手がける企業の多くが旋盤や研磨、溶接など個々の過程を専門とする中、同社はそのほとんどを社内に対応できる体制にしている。これは製品精度と納期管理、そしてなにより“こだわり”の部分が委託加工ではどうしても実現できないためだ。内製化を

進めたことにより、顧客からの特急対応依頼に対しても大きなアドバンテージを持つことができることが同社の強みである。

### 企業士 技術力と人間力 両方の向上をめざす

技術継承と若手人材の確保。三代目である三井一秀社長は、ベテラン社員へは今ある同社を支えてきてくれた感謝の気持ちで接し、若手社員へは技術力継承のため常に注力している。その努力もあり社員の平均年齢は40代と比較的若く、特に30代が多いのが特徴である。同社の工場を見学された方は一様に若い職員が多いことに驚かれるが、それが長期的な企業同士の付き合いにおける安心感にもなっているようだ。食事会や社員旅行など、社長自ら企画し幹事をこなすのも一風変わっている。「とにかく私自身が職人達と近い関係が大事。なんでも話してくれる距離感を意識しています。そして職人同士の空気感をより良くするために自分自身が動かないと。最終的には環境で決まると思っています。環境がよければ人は自然と前向きになります。そこには人間関係が重要です。」と話す三井社長。末永く技術力と人間力を提供するものづくり企業をめざす。

### 社長あいさつ



代表取締役社長 三井一秀さん

三陽は業界の“困った時の駆け込み寺”的な存在になれるよう、できる限り困りごとや悩みごとに真摯に対応してきました。これからの、様々な問題を解決できるよう、どん欲に新しい技術や知識を求め、当社が関わる業界の発展に貢献し続けます。

### 主な保有設備

- マシニングセンタ 10台
- NC旋盤 4台
- 汎用旋盤 8台
- 内径研磨機 3台
- 外径研磨機 3台

大阪 05

住 所 / 〒581-0066  
八尾市  
北亀井町3-2-38  
T E L / 072-990-2540  
F A X / 072-990-2541  
創 業 / 昭和32年4月  
設 立 / 昭和63年10月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 48名



若手とベテランの融合も特徴



スクリーセグメントの実績も多数

